

編集後記

『文化』第二五号をお届けいたします。長い伝統を持つ文化学教室（現・文化学部門）の雑誌ですが、号数の上ではようやく四半世紀を迎えることができました。これまで、多くの方々にご寄稿いただきましたことを、篤くお礼申し上げます。

さて、今号は、二号に亘る長編の御論考、ドイツ語や英語といった外国語による御論考、そして興味深い図表資料やフィールド調査に基づく意欲的な御論考など、紀要雑誌ならではと言える、多様性に満ちた御論考をお寄せいただきました。

紀要はこのように様々なスタイルの論考を掲載できるメリットがあります。今号は、そのような、紀要雑誌の開口の広さを生かされたものになったかと思われまます。

紀要であれば、紙幅の都合ゆえにジャーナルには掲載できない意欲的な長編論文や、図表・翻訳などの多様な資料などを存分に提示することができますでしょうし、後の論考執筆のためのステップとなるアイデアをまとめた文章なども、気負うことなくご執筆いただけるのではないのでしょうか。

そのような紀要雑誌の可能性を広げること、次号以降も末永く、『文化』が充実した雑誌となることを祈念いたします。（矢）

駒沢大学 文化 第二十五号

平成十九年三月三十一日 発行

編集者 駒沢大学総合教育研究部文化学部門

代表 池上良正

印刷所 平河工業社

発行所 駒沢大学

東京都世田谷区駒沢二―二三―一
電話（〇三）三四一八一九一一